

NPO・きらめき広場

2022

3

MAR.

VOL.201

きらりら

KI

RA

RI

RA



ライフアートTessei
塚本 登志子
「椿/日本画」



認知症カフェ
きらめき
第45回 開催



2月2日、NPOきらめき広場が、きらめき広場・哲西文化ホールで第45回目の「認知症カフェきらめき」を開催しました。

この日は、哲西町診療所の岡医師によるミニ講話、村上平さんによる「造形ランド」ではミラクルレインボールを作り楽しい時間を過ごしました。

認知症カフェは、誰でも気軽に参加できます。

皆さん、お気軽にお立ち寄りください

開催日時：3月2日(水) 13:30~15:30

場 所：きらめき広場・哲西 文化ホール

内 容：カフェタイム、ミニ講話(専門的情報を受け取る)、
参加者同士の語り、ミニイベント、情報交換、相談など

参加者：気軽に誰でも参加できる
(認知症の人、介護家族、地域住民、専門職など)

参加費：1人1回、200円

主催：きらめきカフェ運営委員会

開催予定日 ▶ 4月13日(水)・5月11日(水)



*日時の変更の可能性もあります
のでご了承ください。



土井上、土井下、横田地区 合同
矢田西集会所で
出前健康講座

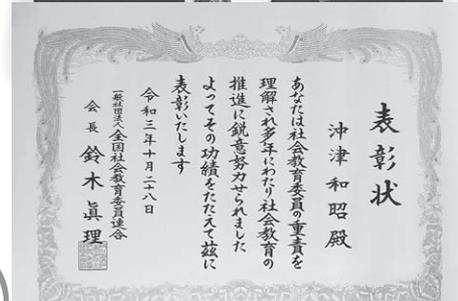
主催：哲西町診療所
NPOきらめき広場



一般社団法人
全国社会教育委員連合
会長表彰 受賞

沖津和昭さん

おめでとうございます
ございます





哲西町診療所

岡 医師 ご挨拶とお礼



こんにちは。哲西町診療所の岡 正登詩と申します。

2017年10月から診療所で働かせて頂き、早いもので4年半が経ちました。2022年4月からは出身地である島根県の病院で勤務することとなりました。この4年半、哲西町の皆様にはここに書ききれないほど様々なことでお世話になりました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

哲西町に初めて来たのは2015年に診療所で5週間の地域医療研修をさせて頂いた時でした。当時はまだ土井先生が赴任される前で、医師は佐藤先生おひとりで診療しておられました。診療所で診療して、患者さんのお家に行って訪問診療をして、哲西荘に行って診療して、企業に行って産業医をして、岡山大学に行って講義もして、などなど……。診療所の仕事が終わってから研修医の指導を夜遅くまで（時には日付が変わるまで！）してくださり、土日にも診療所に来て指導して下さる日もありました。とんでもない先生がいる！と思ったことをよく覚えています。担当医が私が佐藤先生かという誰でも佐藤先生に診察してもらいたいであろう状況で、診療所に来られる患者さんは私が診察しても嫌な顔ひとつされず診させてくださったことにも驚きました。

高校生の頃、私は医師になって医師不足のところに行って働いたら役に立つんじゃないか、というくらいのふわっとした考えで医師を目指しました。しかし大学に行くと働く場所を自分で選んでいる先生はほとんどおられず、所属する科から指示された病院で働くのが普通だということがわかって、高校の頃に考えていた医師不足のところに行こうという考えは薄れていきました。哲西町診療所に行って、大学に入学する前に考えていたことを思い出し佐藤先生に相談してこちらに来ることができました。

2017年10月に哲西町に来てからは外来、訪問診療、学校医、認知症カフェでお話しさせて頂

いたりと未熟ながらも多くのことをさせて頂きました。診療所長として土井先生が赴任されており、通常1人で勤務することが多い診療所でありながら佐藤先生、土井先生お二人の指導を受けることができたことは本当に恵まれたことであったと思います。

4年半の間に色々なことがありましたが、やはり毎日の外来で診療所に来てくださる方々のお元気をみるのができるのが最も嬉しく、こちらに来てよかったと思うことでした。80代以上の一般的には高齢と言われる年代にもかかわらず、畑をしていたりグラウンドゴルフをしていたり、地域のために様々な活動をしていたりと私が同い年になったときこれほど元気でいられるだろうかと考えずにはいられませんでした。年をとることは止められませんが、どんなふう年をとるかはきっと自分次第でずいぶん変わってくるだろうと診療所に来られる皆さんに会って思いました。

独身で診療所に来て、多くの方に結婚の心配をして頂きましたが、2020年にはご縁があって結婚もすることができました。娘も産まれて、診察しているときにも「よかったね、先生！」と声をかけて頂き本当に嬉しかったです。今、娘は丸々と育って大変かわいいです。

良いことばかりではなく、残念ながらこの間にお亡くなりになった方、お看取りさせて頂いた方もおられます。もっと早く病気を見つけられなかったか治療できなかったか、逆に私の行った医療行為が負担にしかならなかったのではないかと悩むことも多かったです。今後も同様の悩みがなくなることはないと思いますが、少しでも役立つことを増やせるよう島根でも努めたいです。

この4年半を思うと全てはここに書ききれませんが、哲西町、新見市の皆様には感謝の念に堪えません。皆様が今後もお元気で、またお会いできることを願っています。本当にありがとうございました。

お知らせ 3月の専門外来は以下のとおりです。

| 3月 | 名前 | 科 | 専門 | 3月 | 名前 | 科 | 専門 |
|--------|----------|----|-----------|--------|-----------|-----|---------------------|
| 1日(火) | 土持 茂之 先生 | 外科 | 腹部外科・血管外科 | 22日(火) | 多田 譲治 先生 | 皮膚科 | アレルギー性皮膚疾患・皮膚細菌性感染症 |
| 8日(火) | 藤原 敬士 先生 | 内科 | 消化器(内視鏡) | 29日(火) | 光生病院 医師休診 | | |
| 15日(火) | 高村 和人 先生 | 内科 | 内科・消化器内科 | | | | |





下野部の幼馴染6人が そば打ち体験で 地域住民を繋ぐ活動



12月26日、下野部集会所で地区社協と下野部の若者有志が「そば打ち体験」を行い、地域住民の絆を深める活動に取り組みました。

この日のそば打ちは、大竹の長谷川敬介さんの指導で行われました。そば打ち体験に至るまで、中心になって活動した幼馴染6人は、数年前から「地域で何か楽しいことをしたい」と思い、考え話し合ってきました。地域活性化につながる活動として、たいへん喜ばしいことです。

…そば打ち体験を終えて…

令和3年「そばを作って、みんなで食べられたら楽しいじゃろうなあ」という意見から、そばをやることとなり挑戦が始まりました。

令和3年7月下旬にメンバーで種をまき、芽が出るまでの2週間、仕事終わりや休日の合間をぬって、交代で水やりを行い、その後も草刈りなどを協力しながら行いました。

そんな中、作業をしている様子を見て、地域の方が手伝ってくださったり、飲み物をもってくださったり、地域の方との交流が生まれていきました。昔ながらの方法を地域の方に聞きながら脱穀などの作業も行いました。

八鳥・大野部地区社協の方の協力もあり、年末に年越しそばを地域の方と一緒に作り、余ったそばを下野部地区の全戸に配ることができました。

今回の活動では、八鳥・大野部地区社協の方をはじめ、多くの地域の方が活動に賛同して下さり、一緒に参加型で取り組めたことが成功できた一番の理由だと思います。

私たちが小さかったころには地域で運動会やクリスマス会などをし、季節ごとに楽しいイベントが開かれていました。

近年は新型コロナウイルス感染症や少子高齢化の影響から、活動が減り、地域の方との交流もなくなり、同じ地域に住んでいても「ありやあどこの子かなあ。誰かなあ」という声をよく耳にします。

そんな中だからこそ私たちは、地域のつながりを大切に、これからも地域の皆さんと一緒に、楽しむということを大切にしながら、活動をしていきたいと思えます。

下野部若者有志

佐伯紳介・沖津由堯・赤木隆慈・佐伯拓郎・東 誠・松本康平





野馳小学校
3年生

哲西民俗研究会と社会科 「昔の暮らし」学習

1月25日、野馳小学校3年生10人が社会科「昔の暮らし」について学びました。

この日は最初、哲西町で昔の生活で使われていた道具を集めた郷土館となっている旧哲西認定こども園を哲西民俗研究会の加藤英郎さん、浅井幹夫さん、奥津一富美さんに案内していただきました。子ども達は、初めて見る古民具に興味深く見て回り、学習の中で出てきた古民具を見つけて喜んだり、どのように使われてきたかを聞いたりしながら熱心に見学しました。

その後、学校に戻り、埜俊二さん、北原進さん、奥津一富美さんの指導で七輪を使った火おこし体験に挑戦しました。マッチを使って火を付けたり、炭をおこすために杉の葉っぱに火を移し、あらかじめ準備していただいていた火吹き竹を使って、顔を真っ赤にしながら炭をおこすことができました。子ども達は、おこった炭の火を使って、地域の方が持ってきてくださった餅やさつまいもなど火加減を調整しながら焼くことができました。

この活動を通じて、子ども達は、昔の火おこしの大変さに気が付くとともに、現代の生活の便利さに改めて気が付くことができました。また、古いものを大切に、郷土館のお世話をしている人々の思いにふれ、ふるさとの誇りを感じる事ができました。





哲西子育て広場

市の委託を受けNPOきらめき広場が運営

毎週月、水、金曜日
10:00~15:00
月1回 土曜日
10:00~12:00

3月の
予定

☆『作ってみよう』

プラバン・ビーズ工作

{ ネームプレート
ストラップ など



ダンス教室を開催しました。



お知らせ

○3月より改装のため、子育て広場の場所が変わります。
きらめき広場入口に、場所を掲示していますので、確認の上ご利用ください。
○3月の土曜開設日は、ありません。



ポンポンかざりをつくったよ!

野馳スポーツ少年団ソフトボール部 閉団のお知らせ

謹啓 向春の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、野馳スポーツ少年団ソフトボール部は、昭和52年4月に結成し「心をひとつに全員プレー」をモットーに、これまで44年間ソフトボールを通じて青少年の健全育成に取り組んでまいりました。しかし、児童数の減少に伴い年々と団員数も減少しており、令和4年4月以降は団員不足のためチームを存続していくことが困難となりました。

このため、野馳スポーツ少年団保護者で話し合いを行った結果、今後も児童数の増加が見込めないことなどから、令和4年3月をもって閉団するという苦渋の決断をいたしました。

これまで44年の長きにわたり活動を続けてこられましたのも、野馳小学校及び地域の皆様のひとかたならぬご支援とご協力のお蔭と、保護者一同心から感謝いたしております。

閉団に際し、関係者や地域の皆様をお招きして閉団式を開催し、感謝の意をお伝えするのが本意ではありますが、時節柄、書中をもってお礼申し上げます。

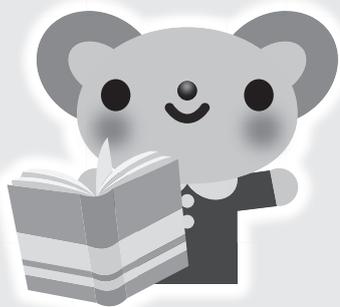
謹白

令和4年2月吉日

野馳スポーツ少年団ソフトボール部 保護者一同

備北民報 令和4年2月15日 掲載から





図書館 だより

新見市立哲西図書館

TEL 94-2110 FAX 94-2100

年中無休

年末年始、蔵書点検日を除く

哲西図書館利用者のための 乳幼児一時預かり

毎月第1・第3月曜日
10:00~12:00

きらめき広場・哲西プレイルーム



★今月の展示本

展示コーナー

「新生活」

収納や整理、一人暮らしの料理、新社会人のマナー、入園入学など、新生活を応援する本を展示しています。



児童コーナー

「春」

寒い冬が終わって春がやって来ます。
桜やタンポポ、虫や動物など春をテーマにした絵本を選んでみました。



★蔵書点検の報告

本年度の不明本は2冊

返し忘れの本はありませんか？
確認をお願いいたします。

* 古本リサイクルの本には **除籍本** の
スタンプを押しています。
雑誌やAV資料などは、バーコード
に線がひいてあります。



★古本リサイクル

3月26日(土)~3月27日(日)
9:00~19:00

恒例の古本リサイクル、本や雑誌を
ご自由にお持ち帰りください。

社会福祉法人 哲西福祉会
調理職員・介護職員・看護師
を募集しています



詳細は、特別養護老人ホーム哲西荘
(TEL 0867-94-3533)まで
お問い合わせください。

哲西荘 の作品

哲西図書館に哲西荘
の皆さんが、掲示し
てくれました。
いつもありがとうございます。
ごさいます。



ご寄付

ありがとうございます
ごさいました
(敬称略)

■香典返し

- 駒澤 昌子(亡夫政明)・矢田
老人クラブみどり会へ 金一封
- 藤川 実三(亡妻菊恵)・上神代
NPOきらめき広場へ 金一封
老人クラブ睦会へ 金一封
下夕集会所へ 金一封

■哲西図書館へ本を寄贈して下さった方

- 浅井 幹夫・大竹
- 逸見比奈子・大竹
- 浅井 和江・大竹
- 名越 正美・東城町
- 赤木 百恵・神石高原町

■香典返し

- 谷本 博(亡父正巳)・畑木
…金一封

■一般寄付

- 田口石油興業(株) 山陽新聞
- 松陽産業(株) 備北民報
- 妹尾観光バス・妹尾タクシー 備北民報
- いくま石油(株) 山陽新聞

NPO通信

「福祉有償運送」って

なあーに？

福祉有償運送とは、NPO等が自家用自動車を使用
して心身の障害や高齢に伴う心身機能の衰えなどによ
り移動が困難な状況にある人の移動を支援する「自家
用有償旅客運送」の一つです。

NPOきらめき広場では、平成18年2月道路運送法
に基づく許可を取得して以来、皆さんの外出を支援す
るサービスとして福祉有償運送を実施しています。

車イスのまま乗車できる車両と後ろの座席が回転し
て乗りやすくしてある車両の軽四2台でサービス提供
しています。

利用目的に制限はなく、移動の範囲も出発地か到着
地のどちらかが新見市内であれば区域も距離も制限は
ありません。

ただ、誰でも利用できるというわけではなく、移動
するために何らかの介助が必要な方として認定されて
会員登録ができた人だけです。

具体的には、移動困難を伴う身体障害者手帳や療育
手帳の交付を受けた方・要介護認定を受けた方・要支
援認定を受けた方・肢体不自由やその他の障害がある
方などです。

日常生活を続ける上で「移動する」ということは欠
かせない事柄です。

移動手段がないということでは外出をあきらめては、
心身にとっても豊かな暮らしにはつながりません。

外出に支援を必要とする方は、NPOきらめき広場
(0867-94-2143)にご相談下さい。

NPOきらめき広場 事務所 / 〒719-3701 岡山県新見市哲西町矢田3604

Tel(0867)94-2143 Fax(0867)94-2100

ホームページ <http://www.npo-kirameki/> Eメール post@npo-kirameki.jp

問い合わせ先